

多様化する家族形態とライフスタイル

- 就労形態の変化が、家族形態や価値観の変化へ連鎖
- 長寿化による意識の変化もライフスタイルへ影響

< 4つのモデルケース >

現在の世帯形態 (定義) ※	割合 ※	家族構成のパターン	モデルケース
単独世帯 (世帯員が一人)	27%	生涯独身	A 生涯独身
		本人(配偶者死亡) + 子供(非同居)	
		本人(配偶者死亡)、子供なし	
夫婦のみ世帯 (世帯主と配偶者のみ)	31%	夫婦 + 子供(非同居)	B 夫婦のみ
		夫婦のみ、子供なし	
親と未婚の子のみ世帯 (夫婦orひとり親と未婚の子のみ)	21%	夫婦 + 子供(同居)	C 夫婦 + 子供(非同居)
		夫婦 + 子供(同居) + 子供(非同居)	
		本人(配偶者死亡) + 子供(同居)	
三世帯世帯 (直系三世帯以上の世帯)	11%	夫婦 + 子供(同居) (+孫)	D 夫婦 + 子供(同居)
		夫婦 + 子供(同居) + 子供(非同居)	
その他世帯 (上記以外)	10%	兄弟姉妹のみ等	

※:平成29年版高齢社会白書 65歳以上の者のいる世帯数及び構成割合(世帯構造別)より

- 病院に行けない高齢者の変化に気づき、家族や地域につなぐ



病院に行ける高齢者
(現状に問題意識がある人)

「私は大丈夫」

病院に行けない高齢者

高齢者の変化（問題点）に気づき、
家族、専門家、地域につなぐ

金融機関の使命

1

明快な説明と
シンプルな選択肢を好む
(多数の選択肢から選べない)

2

持っているものを
手放したくない
(保有効果)

3

ポジティブなことを記憶するが、
ネガティブなことは忘れてしまう

4

過剰な表現に
意思決定が影響されやすい

日本金融ジェロントロジー協会のこれまでの取組内容と今後の活動

- 昨年度は研修テキスト出版や研修プログラム等を提供
- 今年度は政策提言や、来年度の資格制度創設を目指し活動中

